



## <熱中症対策とする判断について>



前号でもお知らせしておりますが、本校では、校内・校外の学習活動を実施するかどうかについて、環境省が作成している「暑さ指数（WBGT）」を基準にして判断していきます。2学期も気温の高い日が続くことが想定されます。そこで、運動会の練習をはじめ、校外学習や外で行う活動（海の学校や野外活動クラブなど）について、次の状況となった場合においては、

**原則、実施せず、子供たちの命を守ることを優先**にしたいと考えています。

- 活動場所における暑さ指数（WBGT）が「危険」（指数31以上）
- 熱中症警戒アラートの発令
- 活動できないほどの悪天候・2つ以上の注意報の発令

暑さ指数が低いからといって、安心できるものではありません。気温や活動場所により熱中症対策を講じながら活動をしていきます。他にも対策として、活動ボランティアをお願いすることもございます。その際は、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。（1学期は延期した活動があり、ご予定を変更していただくなど大変ご迷惑をおかけしました。）

暑さ指数 (WBGT) による基準域
危険 31以上
嚴重警戒 28以上 31未満
警戒 25以上 28未満
注意 25未満

## <熱中症を防ぐポイント>

～熱中症 環境保健マニュアル2022より～

### ①顔色や汗のかき方を観察します

顔が赤く、ひどく汗をかいている場合は、深部体温がかなり上昇していると推察できるので、涼しい環境下で休息します。

### ②適切な飲水行動を学びます

のどの渇きにに応じて適度な飲水ができる（自由飲水）能力をつけます。

### ③日ごろから暑さに慣れましょう

適度に外遊びをし、暑熱純化を促進させましょう。

### ④服装を選びましょう

熱放散を促進する適切な服装を選択し、環境条件に応じて衣服の着脱をしていきましょう。

